

特殊詐欺事件（銀行員なりすまし詐欺）に関する注意喚起

シンガポール警察から当館に対し、「最近、当地銀行（DBS 等）の職員になりすまして、銀行の口座番号やパスワードを聞き出す詐欺の手口が増加しているため、シンガポール在住の日本人の方々に注意喚起をお願いしたい」との連絡がありました。日本人の方も被害に遭っているようです。銀行が電話やメール（SMS）などで、口座番号等の詳細や、特にパスワードなどを聞くことは決してありません。詐欺の被害に遭わないよう、細心の注意をお願いします。

1 典型的な手口

- (1) DBS などの銀行員を名乗る人物から、電話や WhatsApp など電話連絡若しくは、SMS で口座やキャッシュカードがロックされたなどのメッセージが届く。
- (2) 銀行員を装い、口座やキャッシュカードが「ロックされた」、「ハッキングされた」、「偽造された」等の口実で、確認のためと説明し、口座番号の詳細やパスワードを聞き出す。
- (3) 聞き出した情報で、当該口座から不正に送金する。

2 対応策

- (1) 銀行等から、口座やキャッシュカードの個人情報、特にパスワードを電話で聞くことはありません。すぐに電話を切ってください。
- (2) 銀行、警察、公共機関などが個人情報や口座番号、パスワードを電話やメールなどで尋ねることはありません。他人からの要求により、電話やメール、チャットアプリなどで ID や口座番号、パスワードを決して教えないでください。
- (3) もし、何度も電話や SMS など連絡がある場合は、その場で対応せず、一旦電話を切って、銀行が公式に掲載しているカスタマーサービスや緊急電話番号（キャッシュカード裏面等に記載）などに連絡をして、何か問題がないか確認するようにしてください。

3 もし被害に遭ってしまったら・・・

- (1) ご加盟している銀行の緊急対応電話へ、速やかに連絡してください。
- (2) また、銀行に連絡すると同時に、最寄りの警察へ被害届（POLICE REPORT）を提出してください。
- (3) 詐欺だと途中で気づいた場合は、すぐに電話を切り、銀行、警察に連絡をしてください。
- (4) 銀行に相談し、速やかに口座の閉鎖等を行ってください。

※ 参考：シンガポール警察による注意喚起

<https://www.facebook.com/singaporepoliceforce/posts/be-aware-of-bank-impersonation-scams-share-this-advisory-to-protect-your-friends/10159531079744408/>